

卒業生追跡調査（令和 5 年度）

1 卒業生追跡調査の実施

今年度、SSH事業に関する次の卒業生追跡調査を実施した。

- （１）平成 18 年度～平成 31 年度の卒業生（大学院生以上）
- （２）令和元年度～令和 4 年度の卒業生（大学生）

（１）平成 18 年度～平成 31 年度卒業生対象の追跡調査について

対象者：SSHに指定された平成 18 年度卒業生から、令和 5 年度時点で大学院 1 年生である年代である平成 31 年度卒業生までの 1368 名

回答数：205 名

Q 1. 理系学部に進学について

理系学部に進学した	105 名
理系学部に進学していない	100 名

Q 2. 小石川の授業で、現在役に立っていると思う授業（複数選択可）上位 3 項目

（理系学部進学者）

文理を問わず多くの授業を履修	81%
理科などの実験の授業	63%
研究を行う授業	48%

（理系学部以外の進学者）

文理を問わず多くの授業を履修	92%
研究を行う授業	30%
数学の授業	21%

Q 3. 小石川が今後も継続すべきと思う、教育活動（複数選択可）上位 3 項目

（理系学部進学者）

小石川教養主義	80%
理数教育	60%
課題研究の授業	63%

（理系学部以外の進学者）

小石川教養主義	77%
課題研究の授業	40%
理数教育	40%

（小石川教養主義…文理を問わず多くの授業を履修）

Q 4. 小石川在学中で、印象深い授業（自由記述）

○小石川フィロソフィー

- ・少人数で興味ある理科実験をしたこと。個人研究の一環で、東京女子医科大学・早稲田大学の研究所を見学させてもらったこと。
- ・自分で課題を設定して実験し、発表、論文にまでまとめた経験は大学生、社会人になってからも活きた。
- ・研究したことを英訳してシンガポールの学校で紹介したこと。
- ・プレゼンテーションや文章を書く作業に慣れた。
- ・課題研究の授業で、数学が得意な同級生と少人数で授業を受けられたことで刺激を受けた。
- ・数学の課題研究で、生徒各々が数学における定理をひとつ選び、それを確かであると証明する、実証する授業が特に記憶に残っている。

○進路選択に影響を与えたSSH事業

- ・小石川フィロソフィーの授業でアフリカのテーマについて学んだこと。物事について、自分なりに調べてまとめるという経験が面白く、現在の仕事にも繋がっているように感じている。
- ・小石川フィロソフィーが物理オリンピックに挑戦するきっかけになり、現在の所属に繋がっている。
- ・小石川フィロソフィーの生物選択で微生物実験をしていたこと。結局微生物ができる大学に進学し、修論まで微生物専攻だった。就職してからも食品の微生物制御に少し携わっている。
- ・小石川フィロソフィーで政治経済選択であり、高校生模擬裁判選手権に参加した経験から、現在弁護士になった。

（２）令和元年度～令和４年度の卒業生対象の追跡調査について

対象者：令和元年度～令和４年度の卒業生（令和５年度現在大学に在学中である年代）528名

回答数：67名

Ｑ１．大学で学ぶうえで、有用であった事業上位３項目

小石川教養主義（文理に分けず、幅広く学ぶ）	70%
小石川フィロソフィーで実施した課題研究	66%
理科の授業	49%

Ｑ２．小石川フィロソフィーで、大学で学んでいるうえで役立っていると考えている活動上位３項目

テーマを決めて、課題を解決する計画を立てる	58%
他者に自分の課題研究の成果等を発表する	45%
課題研究の成果をプレゼンテーションソフトやポスターにまとめる	37%

Ｑ３．現在大学で学んでいる経験をもとに、小石川在学中、さらに学んでいると良かったと考えていること上位３項目

プログラミングの手法を学ぶ	43%
統計処理の方法を学ぶ	42%
課題研究の成果をプレゼンテーションソフトやポスターにまとめる	25%

Ｑ３．SSH事業が、進路選択に影響を及ぼしたか。

はい	66%
いいえ	34%

Ｑ４．Ｑ３で「はい」と答えた方へ、影響を及ぼしたSSH事業上位３項目

小石川フィロソフィーで実施した課題研究	70%
理科の授業	23%
小石川教養主義（文理に分けず、幅広く学ぶ）	12%

次に、以下の項目について、大学での活動を通してどの程度身に付いたか、4段階で回答してもらい、文部科学省が令和4年度に実施した「全国学生調査(第3回試行実施)」の結果と比較した。

	0 1	0 2	0 3	0 4
専門分野に関する知識・理解	31%	58%	9%	1%
	33%	56%	10%	2%
将来の仕事につながるような知識・理解	31%	53%	15%	2%
	31%	49%	17%	4%
文献・資料を収集・分析する力	34%	58%	9%	0%
	27%	53%	17%	3%
論理的に文章を書く力	32%	50%	18%	1%
	21%	53%	22%	4%
人にわかりやすく話す力	30%	46%	22%	1%
	20%	52%	24%	4%
外国語を読む力・書く力	32%	35%	24%	9%
	10%	33%	38%	18%
外国語を聞く力・話す力	28%	28%	31%	12%
	9%	29%	40%	21%
数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能	21%	40%	30%	9%
	11%	40%	34%	15%
問題を見つけて解決方法を考える力	28%	62%	8%	2%
	21%	58%	18%	3%
多様な人々の理解を得ながら協働する力	30%	55%	13%	2%
	29%	52%	15%	4%
文理を超えた幅広い知識、ものの見方	24%	55%	16%	5%
	19%	49%	25%	7%
異なる文化に関する知識・理解	28%	54%	16%	3%
	21%	44%	25%	9%
知識やスキルを活用して一つのものをつくりだす力	28%	47%	20%	6%
	20%	52%	22%	6%
社会的責任や倫理観	31%	58%	10%	1%
	32%	53%	11%	4%

01…身に付いた
02…ある程度身に付いた
03…あまり身に付いていない
04…身に付いていない
上段：本校卒業生
下段：全国学生調査
※四捨五入してデータ処理しているため、総和は100%にならない場合がある。

ほぼすべての項目について、「身に付いた」と考えている本校卒業生は、全国学生調査の割合より高いことがわかった。「身に付いた」と答えた割合が全国学生調査より10パーセント以上高い項目は、

「論理的に文章を書く力・読む力」「人にわかりやすく話す力」「外国語を読む力・書く力」「外国語を聞く力・話す力」「数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能」である。

また、大学卒業後、現在希望している進路に関する質問を行った。多い順に、「大学卒業後、就職」42%、「大学院修士課程（理系、理工農医等）進学後、就職」33%、「大学院博士課程（理系、理工農医等）進学後、就職」13%であった。

2 「小石川メンターバンク」の本格運用開始

卒業生との連携事業として、第IV期より「小石川メンターバンク」の本格運用を開始した。課題研究のサポートや、講演会を実施して下さる卒業生に「小石川メンターバンク」に登録していただいている。現在、大学生から社会人、すでに退職された方を含めて、70名を超える卒業生が登録して下さっている。

（今年度の活用）

理数探究基礎の授業で、統計数理研究所に所属する研究者が講演

・科学系部活動の合同発表会で、大学生、大学院生がポスター発表の指導・講評